

2. 分野別状況 (2) 地域活性化総合特区 ② ライフ・イノベーション分野

	総合評価 (IとIIとIIIを1:1:2の割合で計算)	I	II	III	総合評価に係る専門家所見(主なもの)
		目標に向けた取組の進捗	支援措置の活用と地域独自の取組の状況	取組全体にわたる事業の進捗と政策課題の解決	
ふじのくに先端医療総合特区 (静岡県、山梨県)	4.7	4.8 進捗度 ・がん診断装置・診断薬の開発 100%  ・その他医療関連製品の開発 100%  ・医療分野に活用可能な山梨県企業の高い技術力について、静岡県企業がファルマバレーセンター及びメディカル・デバイス・コリドー推進センターに相談した件数 104% 等	4.5 規制の特例措置 ・国内品質業務運営責任者の資格要件について(薬機法) 等  地域独自の取組 財政支援措置 ・先端企業育成プロジェクト 等  金融支援措置 ・クラスター分野支援貸付(医療健康関連産業) 等	4.8	・全般的に順調であり、山梨県とのシナジーも生まれている点が評価できる。 ・明確な目標(ビジョン)に基づき、高い成果を上げられていると思う。今後の発展に期待するとともに、他地域へのモデルケースとなるべくノウハウ発信を期待したい。 ・積極的な取組がうかがわれた。 ・多様な取組を進めており、その今後の成果やそれらの相乗効果に注目したい。

2. 分野別状況 (2) 地域活性化総合特区 ② ライフ・イノベーション分野

	総合評価 (IとIIとIIIを1:1:2の割合で計算)	I	II	III	総合評価に係る専門家所見(主なもの)
		目標に向けた取組の進捗	支援措置の活用と地域独自の取組の状況	取組全体にわたる事業の進捗と政策課題の解決	
岡山型持続可能な社会経済モデル構築総合特区(岡山市)	4.7	4.8 進捗度 ・介護保険給付費の抑制 86% ・最先端介護機器等の活用による産業振興 114% ・在宅高齢者の増加とQOLの向上 100% ・生涯現役社会づくりの推進 350%	4.4 規制の特例措置 ・地域活性化総合特別区域介護機器貸与モデル事業 等 地域独自の取組 ・地域別多職種連携事業 等	4.8	・アウトカム評価を着実に続け実績を上げている点は他の特区では見られないことであり、高く評価できる。 ・高齢者への医療支援は、日本の重要課題であり、他地域へのモデルとなるべく情報発信も期待している。 ・多様な取組を行っており、高齢者のアウトカムに立脚した評価ができています。 ・訪問介護/居宅介護支援インセンティブ事業の参加事業所数は目標に未達であるが、活発な取組があり工夫がうかがえ評価できる。

2. 分野別状況 (2) 地域活性化総合特区 ② ライフ・イノベーション分野

	総合評価 (IとIIとIIIを1:1:2の割合で計算)	I	II	III	総合評価に係る専門家所見(主なもの)
		目標に向けた取組の進捗	支援措置の活用と地域独自の取組の状況	取組全体にわたる事業の進捗と政策課題の解決	
東九州メディカルバレー構 想特区 (大分県、宮崎県)	4.3	4.3 進捗度 ・研究開発 プロジェクト数 158%  ・医療関連機器 の市場化件数 260%  ・新規医療機器 製造登録事業 所・製造販売許 可業者数 75%  等	3.8 地域独自の取組 財政支援等 ・大分県東九州 メディカルバレー 構想拠点連携 促進事業 等  金融支援等 ・大分発ニュービ ジネス発掘・ 育成事業 等	4.5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研究開発のプロジェクト化及び製品化共に順調に目標達成がされており高く評価できる。</li> <li>・領域別に見ると、達成度において多少のばらつきが認められるが、全般的には高い実績が得られていると思われる。</li> <li>・多様な取組が行われている。</li> <li>・新規輸出する医療機器の製品が2年続けて実績がないことについては、状況の精査や要因の分析が必要なのではないかとと思われる。</li> </ul>

2. 分野別状況 (2) 地域活性化総合特区 ② ライフ・イノベーション分野

	総合評価 (ⅠとⅡとⅢを1:1:2の割合で計算)	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	総合評価に係る専門家所見(主なもの)
		目標に向けた取組の進捗	支援措置の活用と地域独自の取組の状況	取組全体にわたる事業の進捗と政策課題の解決	
みえライフイノベーション総合特区 (三重県)	4	4.4 進捗度 ・ヘルスケア分野におけるデータ、デジタル技術を活用した取組 75% ・ヘルスケア分野の製品・サービスの増加 88% ・ヘルスケア産業の振興 91% ・ヘルスケア分野企業(第2創業含む。)及び研究機関の立地件数(累計) 102%	3.7 規制の特例措置 ・健康増進に資する機能性食品の効能効果の表示・広告の実施 地域独自の取組 財政支援措置 ・マイレージ制度【企業立地促進補助制度】等 税制支援措置 ・地域未来投資促進法に基づく法人税及び所得税の課税特例 等 金融支援措置 ・みえ経営向上支援資金 等	4	・医療情報データベースの活用と製品開発の進捗はやや低調であるが、企業と研究機関の立地は伸びているので、今後のマッチングが期待される。 ・一定の成果は得られていると思われるが、認定時期(平成24年11月30日)を考えると、本特区構想の「画期的な医薬品や医療機器、生活支援機器などの福祉機器、健康づくりに資する機器、高機能食品など……」について具体的な成果が示されることを期待したい。 ・MieLIPにおける研究開発支援の活動が活発である。データベースの活用の進捗が期待される。 ・指標によりばらつきはあるが、全体として高い実績を上げていると評価できる。

2. 分野別状況 (2) 地域活性化総合特区 ② ライフ・イノベーション分野

	総合評価 (IとIIとIIIを1:1:2の割合で計算)	I	II	III	総合評価に係る専門家所見(主なもの)
		目標に向けた取組の進捗	支援措置の活用と地域独自の取組の状況	取組全体にわたる事業の進捗と政策課題の解決	
さがみロボット産業特区 (神奈川県)	3.7	3.5 進捗度 ・特区発ロボットの商品化状況 200% ・生活支援ロボットの導入施設数 92% ・企業誘致施策等を活用したロボット関連企業の件数 80% 等	3.1 規制の特例措置 ・医療機器製造販売承認等の 手続の円滑化(薬事法) 等 地域独自の取組 ・「セレクト神奈川NEXT」等による 企業誘致の促進 等	4	・ロボットの商品化及び潜在的なユーザーの体験の増加も進んでおり、導入ロボット数が増えていることは評価できる。 ・進捗度において、領域別のばらつきは認められているものの、商品化の実績も得られており、今後、更なる発展・成果を期待したい。 ・多様な生活場面へのロボットの実装に努力している。 ・目標未達の指標であっても積極的な支援や取組があることがうかがえ評価できる。

2. 分野別状況 (2) 地域活性化総合特区 ② ライフ・イノベーション分野

	総合評価 (ⅠとⅡとⅢを1:1:2の割合で計算)	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	総合評価に係る専門家所見(主なもの)
		目標に向けた取組の進捗	支援措置の活用と地域独自の取組の状況	取組全体にわたる事業の進捗と政策課題の解決	
国際医療交流の拠点づくり「りんくうタウン・泉佐野市域」地域活性化総合特区(大阪府、泉佐野市)	3.3	3.8 進捗度 ・国際医療交流の推進 62%  ・訪日外国人へのホスピタリティや地域魅力の向上による訪日促進 130%	2.8 規制の特例措置 ・外国医師等臨床修練制度に係る規制緩和  地域独自の取組 財政支援措置 ・国際医療交流の拠点づくり促進補助金 等  金融支援措置 ・総合特区支援 利子補給金	3.3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外国人がん患者の出身国については、外部環境(政治等)の影響が少ない国についても拡大するように努める方が良いのではないだろうか。</li> <li>・新型コロナウイルス感染症拡大、円安などの影響もあり、一部の領域においては十分な実績が得られていない模様であるが、新型コロナウイルス感染症拡大による経済活動における影響は減少しつつあるため、次年度以降の実績改善に期待したい。</li> <li>・新型コロナウイルス感染症拡大の収束後の外国人患者・医療者数の増加が認められる。</li> <li>・観光面に比べると医療面の進捗の遅れが目立つように感じる。広報活動や交流のターゲットを中国以外の国にも拡大するなど取組の幅を広げ、実績につなげていただきたい。</li> </ul>